



# 10月のクラスだより



ひよこ組

## 【10月の保育のねらい】

- ・指差しや喃語、一語文などで気持ちを表現しながら保育者ややり取りをする。
- ・戸外に出かけ、木の実や木の葉などの秋の自然に興味を示し、見たり触れたりする。



### <自分で食べたい!>

食べることが大好きなこどもたち。食事が運ばれてくると、嬉しそうに「まんま、まんま」と声を出して待っています。

月齢が高いこどもたちは、味覚が発達してきたせいか今まで何でもペロリと食べていたのに「これはいらぬ」と舌で押し出したりそっばを向いたり、指をさして「これが食べたい」と主張したり、意思表示をするようになってきました。

ジャガイモやにんじんなど固形の手でつかみやすいものを平皿に入れ、目の前に置くと、自ら手を伸ばします。最初は握りつぶしてしまうこどもも、食べ物に触れ、つまみ、口に運ぶという動作を繰り返し行うことで、力の加減や口までの距離感などを学び、自分でつまんで食べることが上手になってきました。夢中になって食べ、次々と口に入れてしまうこともあります。そんなときはちょっと手を止め「もぐもぐだよ」と一緒に口を動かしてみせながら、よく噛んで食べるように伝えています。「自分で食べられた」という達成感からか、こどもたちはニコニコ良い笑顔です。

これからもこどもたちの「自分で食べたい」という気持ちや「自分で食べられた」という思いを大事にし、楽しい食事の時間を過ごせるようにしたいと思います。



りす組

## 【10月の保育のねらい】

- ・身の回りのことに興味を持ち、自分でやってみようとする。
- ・保育者や友だちと肋木や段差ののぼり降りを楽しむ。



### <自分でできた!>

りす組になってあっという間に半年が過ぎ、心身ともに大きく成長しているこどもたち。活動の流れや身の回りのことを知ることから始まり日々を過ごしてきました。自分で出来ることも増えて「ジブンデ」や「やってみたい」、「見てて」という気持ちも芽生えてきました。「ジブンデ」と言って食事タオルや洋服を自分のマークのついた衣類カゴに入れたり、自分で着替えようとし、「ほら!見て、出来たよ!」と一人で出来たと自信満々な表情をしています。出来たねと喜びを共感し、褒めていくことを大切にしています。しかし、まだ思うように出来なくて葛藤することもあり、「がんばったね」と挑戦したことを褒めたり、気持ちを受け止めたり、「こうやってみる?」「一緒にやってみよう」と言葉をかけて、やり方を一つ一つ伝えて関わっていくよう意識しています。このような関わりによって、こどもたちは満足感を感じ、受け入れてもらえたという安心感に繋がっていきます。一人ひとりどのような関わりをしたら良いのか考え、楽しく過ごしていけるようにしていきたいと思っています。



うさぎ組

## 【10月の保育のねらい】

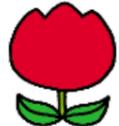
- ・秋の自然に触れ、戸外で遊ぶことを喜ぶ。
- ・運動会で言う競技や他クラスの種目に興味を持ち、運動会ごっこをやってみようとする。



### <指先をつかう遊び>

うさぎ組は時々はさみを出しています。意外と難しいはさみ。ご家庭ではどんな様子でしょうか。うさぎ組では、まず”切れる、危ないもの”であることを伝えています。そして持ち方を伝えます。はさみを正しく持って、持ち手を開いたり閉じたりできるように使い方を教えていきます。大人がはさみを使うとき、ジョッキジョッキと続けて切っていきますよね。でもこどもたちにはとてもむずかしいことです。うさぎ組では、2センチ幅の細長い紙(初めはコピー用紙のような薄い紙より、画用紙のような硬さがあると持ちやすいです)を用意して始めています。はさみを広げて「ジョッキ!」と切る【1回切り】を練習していきます。「ジョッキ」と切れる心地よさ!こどもたちも切れるととてもうれしそうです。はさみを持つ手の平が上を向いてしまったり、うまく閉じられなかったり、一生懸命切ろうとして、どんどん肘が上がってってしまう子も多いです。そっと肘や脇を抑えてあげることもあります。1回切りができるようになると、連続で縦線を切れるようになっていきますよ。

はさみを使うポイントをお伝えしましたが、「3歳になればはさみができる」ようになるわけではありません。指、手首、肘、肩等々様々な体の使い方が発達してきて、細かな動作ができるようになってきます。スプーンは上手に持てているかな?積み木をそっと積めるかな?お絵かきの様子はどんなかな?など、いろいろな遊びや体の使い方も気にしながら保育をしています。これからの季節、戸外活動等で全身を使った遊びもたくさんしていきます。指先だけが器用に成長していくことではないのです。すべては繋がっている!うさぎ組後半、たくさん経験ができるよう、戸外室内でさまざまな遊びを盛り上げていきたいと思っています。



ちゅうりっぷ組

## 【10月の保育のねらい】

- ・友だちや保育者と一緒に走る、跳ぶなど身体を十分に動かしてあそぶ。
- ・友だちと手をつないでしっかり歩く。

### <大好きなリズム運動>

リズム運動を毎日楽しんでやっています。リズム運動の時間以外にも口ずさんでいる子や、歌を覚えて“糸車”をやっている子たちもいます。プールの活動中でも、「うさぎやりたい!」「かえるやりたい」とリクエストが挙がっていたほどです。

ちゅうりっぷ組では運動会に向けて何をやりたいか、聞いてみました。「うさぎとかえると…かめもやりたいけど洋服が汚れちゃうかな?(晴れの場合、校庭で行うことを事前に伝えていました)」「とんぼがいい!広いところだから、いっぱい走れるね」「僕は汽車がいい!ピアノが止まったら、止まるんだよ」「みんなで糸車やりたい」など色々な意見が出てきました。今年の運動会は幼児3クラスでリズム運動を披露します!!リズム運動が楽しい!面白い!と感じているこどもたちの姿を、ぜひご覧ください!!



さくら組

## 【10月の保育のねらい】

- ・友だちと一緒に遊ぶことを通して、きまりやルールの大切さを知る。
- ・身近な自然に触れ、季節の変化を感じる。

### <さくらぐみ忍者>

去年の運動会の写真を見ながら、こどもたちと話し合いを始めました。話し合いを進めていくうちに今年は忍者の修行をしたいという事になり、みんなでどんな修行があるのかを出し合いました。水、とぶ、くぐる、静かに走る・歩く、変身などなど、たくさん出ました。今は、色々な修行をみんなで試しています。

しかし、「忍者はそんなことしないよ」など友だち同士注意し合う姿もあり、なかなか忍者になり修行をするのが難しくなってきたので、忍者のリストバンドやはちまきを用意し、忍者に変身してみました。すると「かっこいい!」腕を曲げて「パワー!!」と言いながらポーズを決めたりしていました。忍者になりきったまま修行をしてみると、別人のようになり…「つけた方が忍者だね」「忍者走りももっとできるかも」と最後までなりきって修行していました。

運動会までにどんな修行をするのか決める予定です。運動会を楽しみにしてください。



もみじ組

## 【10月の保育のねらい】

- ・自分の力を発揮し、達成感を味わう。
- ・共通の目的に向かって、友だちと協力する中で互いのよさに気づく。

### <樽太鼓の練習を頑張っています>

ある日の集まりで「運動会では何がしたい?」とこどもたちに聞いてみると、昨年のもみじぐみのことを思い出して「それはもちろん太鼓でしょ」「そうだよ、太鼓って難しいからもみじしかできないんだよね」「太鼓がやりたい」「わたしも太鼓やってみたい」とどんどん意見が出てくるこどもたちでした。昨年のもみじ組が運動会で太鼓を演奏した姿がとっても印象的で憧れだったようです。9月に入り、早速みんなで物置から太鼓を出してリズム打ち練習を始めました。最初は、どの子も「できるぞ!」と自信満々に言っていたのですが、実際に叩いてみると思うようにできないことも多く、練習が進むにつれて「結構難しいな」「途中で叩くりズムが分かんなくなるんだよね」などと自信なげにつぶやくことが増えました。それでも毎日練習を重ね、運動会でかっこいい姿が見せられるようにこどもたちは頑張っています。運動会当日は「ヤー!」と大きな掛け声を響かせ、「できた!」「がんばった!」という気持ちを存分に感じられたらいいな、と思っています。

